

広報 かわぐち

No. 126 昭和59年 4月

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場企画
(〒949-75 ☎025889(代)3111)



一日入学
(3月2日 川口小学校)

今年入学する児童は町内4校で97名です。
昨年より14名増加しています。

川口小学校 59名 泉水小学校 20名
田麦山小学校 17名 木沢小学校 1名

おもしろ内容	昭和59年度町当初予算の概要	2~3	町行政組織規則を改正	7
	昭和59年度 主な事業	4	町職員人事異動	8
	町議会 32 議案原案どおり可決	5	農業共済小千谷市と合併	9
	59豪雪悲惨な結末	6	お知らせコーナー	10~14

確定申告が間違っていたときは

昭和58年分所得税の確定申告は、3月15日で終了しました。

ところで、計算違いなどで誤った確定申告をしたり、確定申告書の提出を忘れていない人はいませんか。

確定申告後に、申告した税金が少なかったことに気付いたときは「修正申告」をしてください。

逆に、申告した税金が多かったことに気付いたときは、「更正の請求」をすることができます。

期間は、昭和60年3月15日までとなります。

また、確定申告を忘れていた人は、すぐに確定申告をしてください。これは、「期限後申告」といって、税務署から決定を受けるまではいつでもできますが、早く申告する方が有利です。

詳しくは小千谷税務署・税務相談室へお尋ねください。

健康診査、指導
四、六月日程決まる

老人保健法の保健事業のうち、大きな柱である健康診査・健康指導の四、六月の日程ができました。今回は、四月の日程をお知らせします。

対象者 四十歳以上で職場の健康診査を受けることができない者。

四月十三日
午後二時～三時半
武道窪 武道窪公民館

四月十六日
午後二時～三時半
牛ヶ島 牛ヶ島公会堂
午後三時～三時半
貝ノ沢 貝ノ沢集会所

午後二時～三時半
新敷・原新田 新敷集会所

四月十七日
午後二時～二時半
野田 野田公民館

午後二時四十分～三時半
中山 中山公民館

四月二十日
午後二時～二時四十分
牛ヶ島 牛ヶ島公会堂
午後三時～三時半
貝ノ沢 貝ノ沢集会所

保険証の異動は 十四日以内に

福祉課

就職、進学、シニア、世帯主は、国民健康保険証に異動があった場合、十四日以内に届出をしなければなりません。

届出が遅れると病院等でかかった医療費を全額自費で支払わなければならないことがあります。

くわしくは、役場福祉課へ。

募集

警察官 (大学卒)

- ・受験資格 大学既卒者
 - ・受付期間 四月九日～五月十日
 - ・採用予定人員 (新潟県) 約二十五人
 - ・採用月日 昭和五十九年八月一日
- ※詳しくは小千谷警察署川口駐在所 ☎2032

住宅資金等の貸し付け

国民年金積立金還元融資

町では、国民年金積立金の還元融資を受けて、次のとおり各種資金の貸し付けをしています。
ご希望の方は、4月30日までに町役場福祉課へ申し込みください。

一 老人居住整備資金

貸付の対象者 60歳以上の親族である高齢者と同居する世帯で、老人の専用居室の増築又は改造する者。(原則として所得税非課税世帯を対象とします)

貸付金 133万円 (予定)

利率 原資の借入利率の範囲内。

ただし、生計中心者及びその配偶者が貸付年度に所得税がかからない場合は、年 3.2%。

償還方法 元利均等半年賦十年償還

一 障害者住宅整備資金

貸付の対象者 身体障害者手帳1級又は2級及び療養手帳Aを所持している者のために、居室、玄関、風呂場、便所等の増築又は改造をする者。(原則として所得税非課税世帯を対象とします。)

貸付額 185万円 (予定)

利率・償還方法 老人居室整備資金と同じ。

人口	昭和59年3月1日現在
6,604人	
男	3,243人
女	3,361人
世帯数	1,508戸

前年対比23%アップ

昭和59年度 町当初予算 35億7,650万円

一般会計

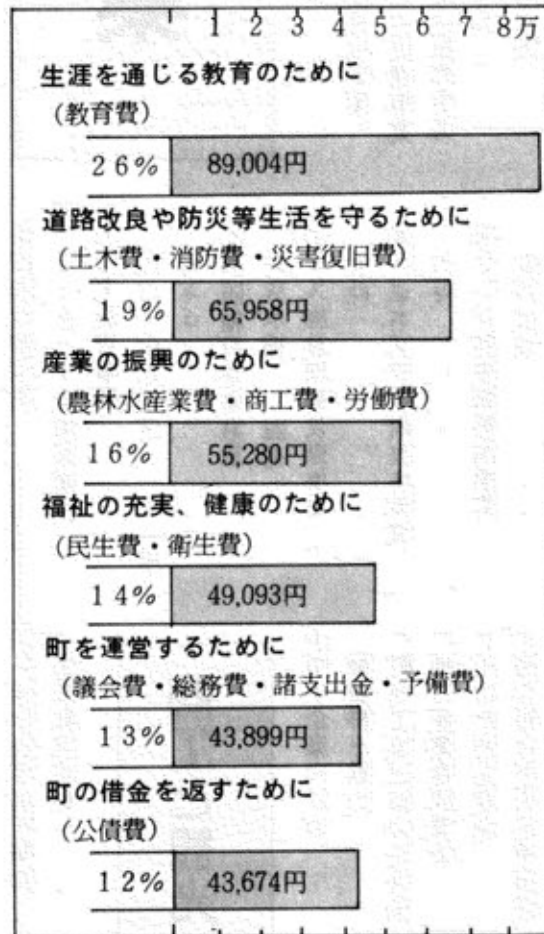
23億円の概要

昭和五十九年度一般会計及び各特別会計予算は、町議会三月定例会において原案どおり可決されました。予算総額は三十五億七千六百五十万円。内訳は、一般会計で、二十三億円、特別会計十二億七千六百五十万円、簡易水道事業、国民健康保険、老人保健、ガス事業の順となっております。

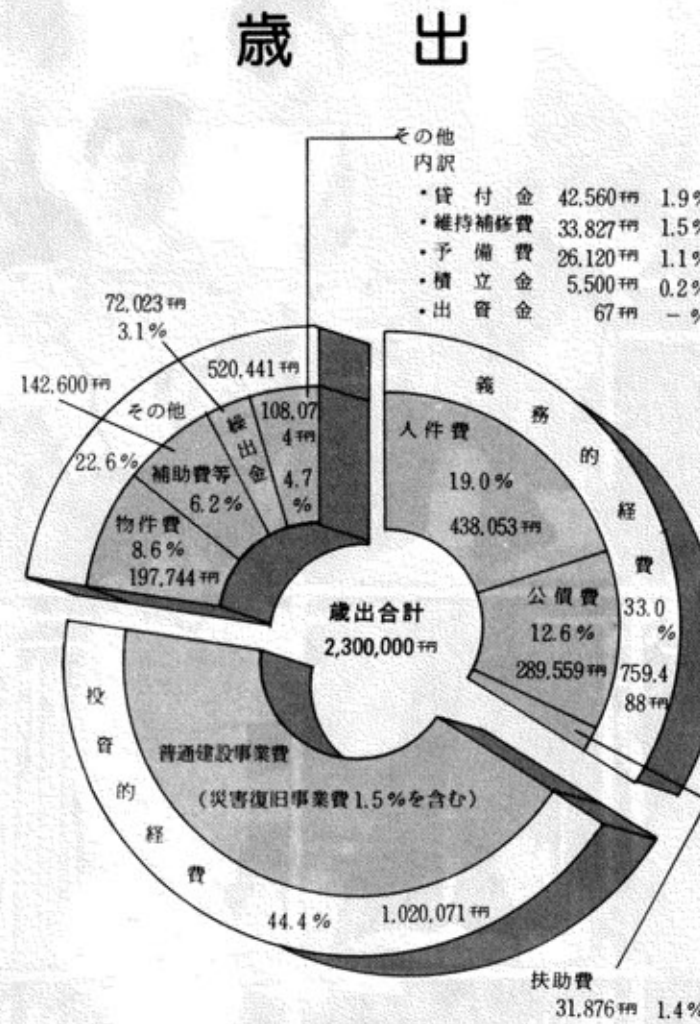
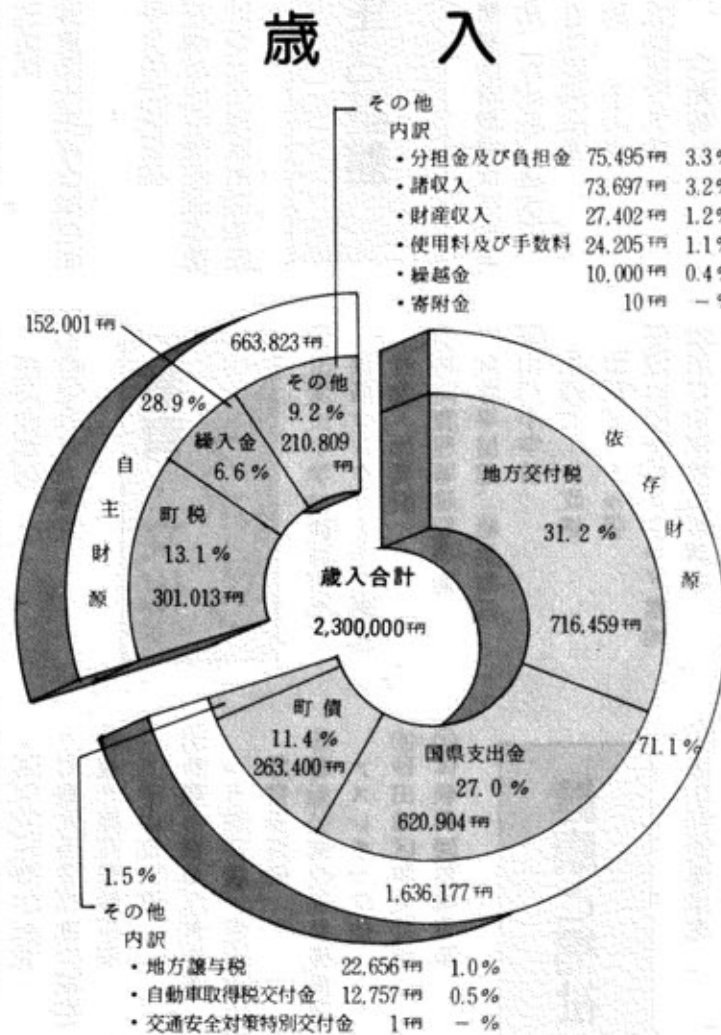
主な事業をあげて見ますと、①田麦山小学校改築事業②東部簡易水道増補改良事業③中高層住宅建設事業④西倉・上川・木沢各地区農村基盤総合整備事業⑤町道改良舗装事業等が予算計上されています。当初予算の概要をご紹介します。

町民1人当りの使いみち (一般会計)

1人当り使うお金 346,908円
 " 納めるお金 45,401円



※人口は昭和59年2月1日現在の推計人口6,630人による。



会計別の予算額 (単位 千円)

会計別	構成比 (%)	金額 (千円)
一般会計	64.3	2,300,000
1. 議会費	1.3	46,837
2. 総務費	6.1	217,297
3. 民生費	5.6	200,707
4. 衛生費	3.5	124,777
5. 労働費	0.2	6,187
6. 農林水産業費	8.5	305,230
7. 商工費	1.5	55,086
8. 土木費	9.3	330,933
9. 消防費	2.0	71,910
10. 教育費	16.5	590,100
11. 災害復旧費	1.0	34,458
12. 公債費	8.1	289,559
13. 諸支出金	0.0	799
14. 予備費	0.7	26,120
特別会計	35.7	1,276,500
国民健康保険	8.9	318,000
老人保険	7.4	264,500
簡易水道事業	14.6	521,000
ガス事業	4.8	173,000
合計	100	3,576,500

- ▼加入世帯数 一、五七〇戸
- ▼普及率 九三・三%
- ▼年間予定販売量 一、二八六、〇〇〇m
- ▼年間一世帯当り 予定使用量 八一九m
- ▼ガス管延長(φ20%)φ150% 六四、九〇三m
- ▼特別会計では前年対比、三三・八%の伸びを示していますが、昭和五十九年度より、農業共済事業が廃止されましたので、実質的な伸び率は、三九・一%となりました。
- ▼主な要因は、水道施設の老朽化に伴い、簡易水道事業整備事業を今年度から実施するため大幅な増加となったものです。

- ▼被保険者数 六三五人
- ▼受診見込件数 一〇、四七五件
- ▼町が医療機関へ負担する一人当りの見込額(年額) 四一七、一七七円
- ▼簡易水道 給水戸数 一、〇九三戸
- ▼水道名 東部簡易水道
- ▼加入世帯数 八二九戸
- ▼被保険者数 二、六二二人
- ▼年間一人当り保険料見込額 四八、四七七円
- ▼年間町が医療機関へ負担する一人当りの見込額 八二、五一五円
- ▼町が年間医療機関へ負担する高額療養一人当りの見込額 一一、一四三円
- ▼国民健康保険
- ▼特別会計メモ

昭和59年度

主な事業

農業と水産林業

- ① 農村基盤総合整備事業
- 西倉地区
- 桑巻サイフォン工、原新田排水路
- 上川地区
- 貝ノ沢地区集落排水路、農道改良、排水路
- 天納地区排水路
- ② 一般農道整備事業
- 相川農道改良
- ③ 新農業構造改善事業
- 竹田地区農道改良・舗装
- ④ 肉用牛等振興施設整備事業
- 牛舎建設
- ⑤ 農業生産基盤整備事業
- 排水路改良
- ⑥ ため池等整備事業
- 野田ため池改良
- ⑦ 地域農政推進対策事業

総合推進事業

- ⑧ 農用地高度利用促進事業
- ⑨ 農林水産業総合振興事業
- トラクター導入
- ⑩ 水田利用再編対策
- ⑪ 集落排水路整備事業
- 貝ノ沢地区
- ⑫ 新地域農業生産総合振興事業
- 高効率生産組織育成
- ⑬ 農業振興地域整備促進事業
- ⑭ 米穀流通消費改善対策事業

生活基盤

- ① 東部簡易水道増補改良事業
- 取水井、浄水場、送水管
- ② 町営住宅建設事業
- 四階建 十六戸
- ③ 町道改良舗装事業
- 改良 六路線
- 舗装 四路線

教育・文化スポーツ

- ① 田麦山小学校建設事業
- 鉄筋コンクリート三階建校舎・体育館
- ② 共同調理場建設事業
- 鉄骨平屋建、給食施設
- ③ 川口小学校
- 水泳プール改修
- 塩化ビニール張
- ④ 川口中学校グラウンド整地
- ⑤ 川口小学校地質調査
- ⑥ 図書整備の充実

商工と観光

- ① 中小企業向けの融資枠を拡大
- 町商工協同組合貸付金
- 地方産業育成資金
- 川口町商工資金
- 商工組合中央金庫預託
- ② 町観光事業調査計画
- 観光宣伝費の拡充
- 町観光事業推進の補助
- ③ 観光施設整備事業
- 二子山遊歩道
- ④ 新農業構造改善事業
- つり堀建設・東山遊歩道・野宮場整備
- ⑤ 運動公園改善整備事業
- アスレチック他
- ⑥ 砂田地区開発計画
- ⑦ 体験農園整備事業
- ⑧ 末広荘改築事業
- 生きがいルーム・健康ルームを設置
- ⑨ 各種学級等巡回開設
- 生涯教育活動
- ⑩ 上川保育所の開設
- ⑪ コミュニティボランティア活動の充実
- ⑫ 老人保健事業
- 健康手帳交付、相談、診査
- ⑬ 老人医療給付
- 七十歳以上
- ⑭ 敬老事業
- ⑮ 家庭奉仕員派遣事業
- ⑯ 老人居室整備資金貸付事業
- 一件当り 百三十三万円
- ⑰ 障害者住宅整備資金貸付事業
- 一件当り 百八十五万円
- ⑱ 町単独事業
- 父子手当
- 精神障害者、腎臓機能障害者医療費助成
- 母子家庭の高校生修学資金の助成
- ⑲ 高額療養費資金の貸付
- ⑳ 母子保健振興事業
- ㉑ 健康づくり事業
- 栄養教室の開催
- 食生活改善推進員の設置
- 十五名
- ㉒ 一般廃棄物収集業務委託
- 処理
- ㉓ ごみ収集運搬の委託
- 収集車 二台

健康と福祉

町議会三月定例会

32議案

原案通り可決

条例関係

昭和五十九年町議会三月定例会が、去る三月十七日終了し、昭和五十九年度当初予算及び昭和五十八年度の最終補正予算案など、三十二議案が原案通り可決されました。傍聴者もある中、十日間にわたり慎重な審議が重ねられました。主な条例制定関係などをお知らせします。



▲慎重な審議が重ねられた町議会 3/8

▽町税条例の一部改正
新聞等で報道されている減税対策に伴い、町税条例を改正し、減税するもの。

▽町水道条例の一部改正
施設の老朽化に伴い、先般、水道事業整備計画を策定。この計画を実施するためにはどうしても需要家の協力が不可欠となります。やむを得ず水道料金を、五月一日から平均三一・六%値上げするもの。

▽町保育所及びへき地保育所条例の一部改正
上川保育所新設に伴い保育所数が一カ所増設と、認可保育所の値上げに伴い木沢保育所の保育料を平均二・八%値上げするもの。

▽町運動公園の設置及び、管

理に関する条例の一部改正
テニスコートが二面増設されたことにより、新設コート(Bコート)は、町内者専用とし、施設使用料は無料とするもの。既設コート(Aコート)は、町外者も利用させるため、施設使用料を値上げするもの。

▽町農業共済条例を廃止
水稻、畑作物、家畜、養蚕、果樹など農業が、災害及び病虫害などで被害を受けた際の相互救済と建物共済を国の行財政改革に対応し、小千谷市と合併するもの。小千谷地域農業共済組合として四月一日からスタート。広域化による合併は県下では第一号となります。

▽町国民年金印紙購買基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正
国民年金保険料が、四月から値上げするに伴い、運営のため同基金を増額するもの。

▽その他
①町議会議員、非常勤特別職員の報酬及び費用弁償を平均四・七%値上げ。
②消防団員の報酬を二・八%から一四%値上げ。
③町職員の定年を六十歳に

昭59 当初予算

三月十二日発行の町施政方針及び当紙P2、P4をのぞいてください。

昭58 補正予算

▽一般会計補正(第八号)
昭和五十八年度一般会計に、七千二百二十四万七千円を追加し、総額二十一億二千七百七十四万五千円となりました。最終補正により予算の過不足を調整するもので、主なもの、歳入では、普通及び特

議案審査報告書

総務委員会

一般会計
町消防団におかれては、地域の防災防火、住民の生命財産の安全確保に日夜献身的な努力をそそがれておりますことに深甚なる敬意を表すものであります。行財政改革の今日、常設消防の充実と成果をふまえ、町消防団の機構の改革並びに、各地域の消防施設整備等について、今後検討願いたい。

※社会文教委員会、産業建設委員会は特にありません。

町職員 人事異動

4月1日付

主任以上 (敬称略)

課長
 企業課長 金子 真
 町民課長 (田麦山支所長事務取扱) 佐藤 誠
 税務課長 関 公一

参事
 議事事務局 星野 正 (昇任)

総務課参事
 (秘書室長事務取扱) 保科 正紀 (昇任)
 企業課参事 古田島正作 (昇任)
 (課長補佐事務取扱) 建設課参事 古田島正作 (昇任)
 (課長心得) 真島 淳 (昇任)
 福祉課参事 (課長心得) 丸山 晃 (昇任)

町助役 古田島 正氏 再任

青柳町長は、3月17日の町議会に、任期満了に伴う助役の選任の同意を議会に求め、古田島正氏の再任(二期目)が決定しました。

再任の任期は昭和59年4月1日からの4年間です。

水道使用料

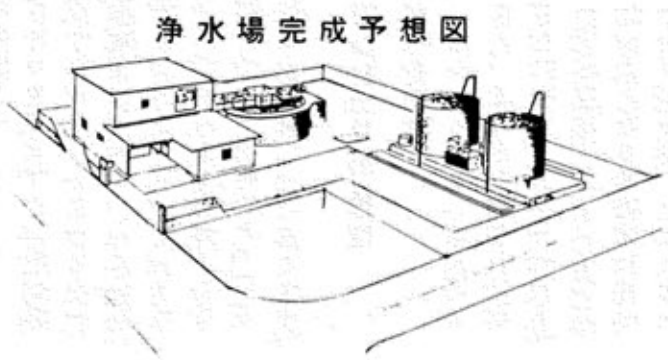
5月から31.6%値上げ

ご協力をお願いします。

水道使用料金が、町議会三
 月定例会において可決され、
 五月一日から三一・六%値上
 げになります。

この理由は、昭和五十九
 六十年で実施する水道施設
 整備事業にかかる建設費の財
 源に充てるためのもです。

水道事業は独立採算制を原
 則としておりますが、今回の
 整備事業においては、建設費
 が多額のため、一般会計から
 援助を受けて事業を実施しま
 すが、不足分について加入者
 の皆さんのご協力をお願いす
 るものです。



浄水場完成予想図

整備事業の内訳は広報かわ
 ぐち11月号に掲載したとおり
 ですが、現在の川口町の水道
 は、昭和三十年代初期に建設
 され、浅井戸による魚野川の
 伏流水を水源として、塩素消
 毒のみの水道として今日まで
 運営されてきましたが、使用
 量の増加や水質の悪化により

すでに限界に達しております。
 このため今回の整備事業で
 は、魚野川に集水埋きよを布
 設し水量の確保をはかり、浄
 水場を建設し水処理を行い、
 水質の管理をするものです。

水道料金は、各市町村によ
 り格差がありますが、これは、
 一、水源の水質が塩素消毒の
 みで良い水道と河川の水を

課長補佐
 町民課長補佐 内山 敦夫
 税務課長補佐 森山 ミツ (昇任)
 総務課長補佐 渡辺 浩 (昇任)

副参事
 建設課副参事 (係長事務取扱) 星野 征臣 (昇任)
 産業開発課副参事 (係長事務取扱) 星野 衛 (昇任)
 総務課副参事 (係長事務取扱) 大洲 公男 (昇任)

係長
 企業課係長 関 久一
 税務課係長 渡辺 善昭
 企画課運動公園管理係長 鈴木 政幸
 産業開発課主任 根津喜久子 (昇任)
 福祉課主任 丸山 晃 (昇任)

農業共済小千谷市と合併

4月1日 スタート



川口町農業共済事業 (加入者854名) と
 小千谷市農業共済組合 (新保定雄組合長、組
 合員3,411名) の広域合併がこのほど決まり、4月1
 日から「小千谷地域農業共済組合」としてスタートします。

農家側からみますと、区域が大きくなっても掛金納入
 や損害評価、または組合との連絡方法は変わりなく、役場
 窓口(産業開発課)で取り扱いを致します。合併によっ
 て、掛金や賦課金が高くなることはなく、災害の未然防
 止に重点を置くことができます。

広域化のメリットは、①農家負担の増高抑制とサー
 ビスが充実する。②家畜診療所の機能が向上する。③執行
 体制が充実する④財務が健全化し、かつ効率化する⑤共
 済事業推進、事務処理の充実が期される⑥対外信用度が
 増大する。等が期待できます。

農業共済制度は、発足後33年経過し、水稻・蚕繭・家
 畜・畑作物・果樹等災害や病害虫で被害を受けた場合の
 相互救済と、建物が被災した場合救済する建物共済があり
 ます。掛金は(建物を除く)国と農家が約半々で負担
 していますが、事務費の大半は国が補助しています。し
 かし、国の財政難から補助金が徐々に減らされ、全国的
 には広域化が進んでいます。新組合は、国の行政改革に
 対応し、県の指導により実現するもので、県下第一号と
 して発足します。将来は、北魚沼と小千谷市が一つの組
 合となる予定となっています。

退職された職員の方々

- (敬称略)
- 建設課長 星野 重雄
 - 企業課長 広井 幸雄
 - 教育委員会次長 杵淵 光行
 - 教育委員会主事 関 正行
- 上記のように4名の職員の方々が惜しまれながら、退職されました。長い間ご苦勞様でした。今後のご活躍を期待します。

保育所関係

副参事
 上川保育所副参事 所長 阿部 貴子 (昇任)

所長
 西川口保育所長 関 ナミ

教育次長
 大洲 富一

主 任
 給食センター長 小林 利光
 主任 津端 優子 (昇任)
 社会教育主事 佐藤 秀治 (見附南中より)

町教育委員会関係

主 任
 田麦山保育所長 上村 洋子 (昇任)
 上川保育所主任 田麦山保育所主任 星野由美子 (昇任)
 収入役室主任 川瀬 ミツ (昇任)
 建設課主任 丸山 定夫 (昇任)
 山田 功 (昇任)

水道基本使用料

(1か月 10㎡につき)

簡易水道名	改訂後		改訂前		差 額	
	金額	超過料1㎡につき	金額	超過料1㎡につき	金額	超過料1㎡につき
東 部	1500	150	1150	115	350	35
田 麦 山	1450	145	1050	105	400	40
和 南 津	1450	145	1050	105	400	40
相 川 武 道 窪	-	-	1100	110	400	40
小 高	1100	110	750	75	350	35
西 倉	1500	150	1150	115	350	35

(相川・武道窪水道は、東部と統合)

米づくり六六運動 今すぐ消雪をやり コシヒカリを増産しよう

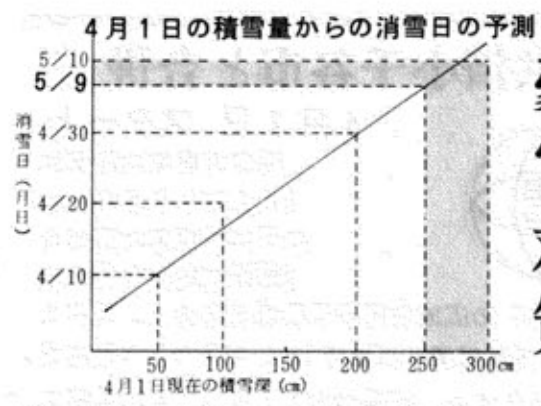
郡内平均より
六%下回る

町ではコシヒカリの増産にむけてコシヒカリ六六運動を展開中ですが、五十八年産の結果をみると、なかなか成果が上がらず目標達成にいま一步の状況です。
グラフを見ますと当町の昭和五十八年産コシヒカリの作付面積率は五四・二%と郡内平均を六%を下回っており、六〇%以上を目標として取組んでいる当町にとって黄色信号が点滅しつつあります。

コシヒカリの特性

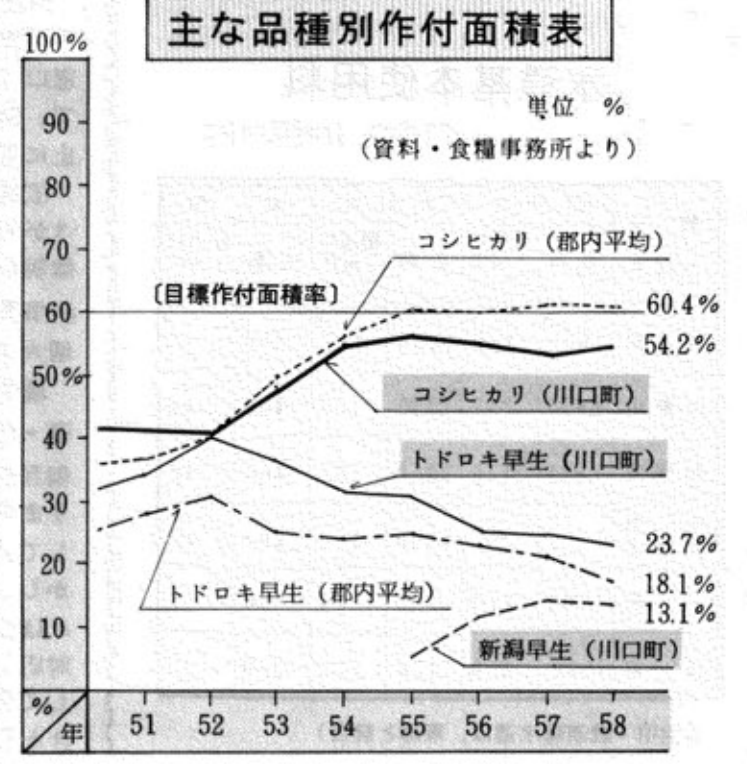
- (一)販売有利性
コシヒカリを一俵出荷すると、よほどの胴割れ米等でない限り(九十八%以上)自主流通米となり二万三千円以上となり政府米に比べて四千五百円、トドロキワセ、新潟早生に比べても三千五百円以上高くなります。
- (二)栽培特性と注意点
①発芽に注意、健苗育成
②早植えによる初期分げつ促進

- ③ 基肥チッソの減肥による長稈防止
 - ④ 中干しの実施により生育調整
 - ⑤ おおい穂肥により倒伏防止と増収
 - ⑥ いもち病防除の徹底
- 新潟米の中でも特に魚沼のコシヒカリは日本一の評価を得ておりますが、まだまだ不足しています。基本技術の励行と土づくりによって収量を上げると共に機械の共同利用や共同作業と取組み、コスト低減により、農業所得を高めましょう。



豪雪対策と稲づくり

- 今年はいよいよ豪雪を上回る大雪となりましたが被害が心配されません。
- 一、被害の様相
(1) 雪消えのおくれに伴い、高温化で育苗されるので苗質が低下しやすい。
(2) 本田の準備期間が短くなり、整地が粗雑になりやすい。
(3) 晩植となるので茎・穂数が減少し、減収しやすい。
(4) いもち病などの病害虫が発生しやすい。
- 二、対策と効果
(1) 消雪日の予測
一日の融雪量を三月下旬は四〜五センチ、四月上旬は六〜八センチとして、雪質等から推定すると当町平均は五月九日となります。
(2) 消雪促進
機械及び消雪剤散布によって促進されます。
なお、町では、苗代及び施設を中心として三百万円の補助金を用意しています。



講演会

自分の運命は自分で切り開くべきだ

映画評論家 水野晴 郎氏



会場は超満員 (文化会館 3/18)

さる三月十八日、文化会館において、映画評論家水野晴郎氏による文化講演会が催されました。

「映画ってほんとうにいいものですね」歯切れのよい語り口で親しまれる水野氏は、年間四百本を超える映画を見るそうです。日に八本、朝八時から深夜二時頃に及ぶこともあるという、重労働です。講演の一部をご紹介します。「仕事柄、よく旅をします。ついこの間、新幹線の中で、三十七〜八歳の男性に話しかけられました。水曜ロードショーで紹介した「アラビアのローレンス」を、その方は大学受験の勉強中、見たそうです。自分の進みたい方向と、学校で進める大学が一致しないで悩んでいた時、主人公が言った「人間は自分の運命は

自分で切り開いていくべきだ」ということばに、深く感銘。好きなデザインの仕事を選び、現在会社を経営し、充実した毎日を送っているとのこと。「ことばは、人の生き方を左右するものだ」「人には、その人でなければできない仕事がある」とこの二つを、この人との出会いで学びました。最近の邦画「この子を残して」という映画は、長崎の原

爆をテーマにしたもの。淡島千景扮するおばあちゃんが、幼い孫と戦火を免がれて焼け野原を歩いて言ったことばが大好きなのです。「おばあちゃん、亡くなったおとうさんも子どものときこうやっておんぶしたの。」「そうですよ。みんな子どもは、おかあさんがおんぶするんです。」

あささんが増えていきます。おかあさんのぬくもりを感じながら、二人で同じ目の位置で語りあうことが大切ですね。この映画、戦争という忌い誤まち、二度とくり返してはいけないことを次の世代へ伝えていきます。いい映画が、テレビによって家庭で楽しめるようになり、家族そろって見てください。」

雪まつり

晴天に恵まれ最高の人出



▲約1,000人が雪と楽しんだ (川口スキー場 3/4)

雪まつり会場に設置されたドンド焼きに、青柳町長と小学生の手によって点火。炎の中、まつりのフィナーレです。さる3月4日、雪まつり会場の川口スキー場には一千人を超える人出となり、56豪雪に迫るこの冬、恵まれた晴天の一日を満喫。回転や距離競技など小学生から成人まで熱の入った技が競われたほか、パン食い競争、3人4脚風せん割りなど、ユニークなレクリエーション種目に、ドッと笑いが巻きおこりました。ふるさと広場では、かまくら、雪像などを前に、餅つき、豚汁のサービスに人気が集まり、「健康と心のふれあい」を楽しむ一日でした。

おらせ し コーナー

善意ありがとう

川口小学校 4年一同
(3月23日届出)

… 6,570円…

このお金は、昨年の春、修学旅行先で拾ったお金を、公番に届けたところ、一定期間を過ぎても持ち主が現われないため、拾い主の物となったものです。

四年生全員でお金の処分を相談した結果、「町の恵まれない人に役立ててほしい」と町へ届けられたもので、町では善意をありがたく活かしたいと考えています。

1. 防火対象物（飲食店、工場等）や危険物施設（ガソリンスタンド等）の立入検査と防火安全指導。
2. 車両による防火広報。
3. 防火チラシの配布と一般



中高年齢者研修は一部援助の対象になります
新潟県
本格的な高齢化社会へと移行する中で、我が国は今後とも絶えざる技術革新を進めて行くことが要請されています。変革のうねりの中にあつて

事業主のみなさんへ

5. 防火講習会等の開設。
 6. 防火フィルムの出貸し。
 7. その他、火災予防の普及、徹底と指導。
- ※防火相談や防火フィルムの出貸し希望がありましたら、お気軽に消防署にお問い合わせください。

春の火災予防運動 4/1～4/7

点検は防火の はじまり しめくくり

本年は豪雪の影響で春の訪れも遅くなりそうです。ストーブ等の暖房器具もまだ必要のことと思います。使い慣れた火に一層の注意と管理で、火災のない町を作りましょう。

4. 期間中、消防署に防火相談室の開設。

二市三郡福祉懇談会

自助、自立の精神に基づいた 地域福祉づくりを



3月9日 末広荘

障害者

特別視しないで

陽光の中、三月九日「末広荘」において二市三郡の福祉懇談会が開催されました。県身障者団体連合会主催、県社会福祉協議会、及び郡社会福祉事務所協賛によるこの会には、地区内における障害者をもった方のうち、指導的立場にある人、相談員ら五十六名が参加。
県社会福祉協議会の押木業務課長は、次のように講演しました。

「福祉業務の中でも、とりわけ障害者福祉の分野は、大きな問題を抱えております。一定の面積をもった社会では、男の人、女の人、老人、子供、障害のある者、ない者これらの人々が渾然と入り混じって暮らしています。障害者というと、特別視する傾向にあります。特別視する傾向にありますが、その考え方は誤りです。

自転車も乗れば 車の仲間入り

春の全国交通安全運動 4/6～4/15



3/19 西川口保育所

運転の重点

1. 子供とお年寄りの交通事故防止
2. 二輪車の交通事故防止
3. シートベルト・ヘルメット着用の推進

「みんなで守ろう
黄色い帽子の
よいこたち」
町交通安全協会では、かわいい新入園児の交通事故防止に役立ててもらうため、昭和59年度より交通安全帽を新入園児全員に交付することになりました。
この帽子は、黄色い帽子に交通安全マークを印刷したもので、マークは、新潟県を型どった中に、手を上げて交通ルールを守を親子が描かれているものです。

新入園児に 黄色帽子プレゼント

町交通安全協会

昭和59年度 銃砲刀剣類 登録審査会

日程及び会場
長岡会場（長岡市厚生会館）
4月16日（月）
10月17日（水）
午前10時～午後3時

- 持参するもの
- ①登録を受ける銃砲刀剣類
 - ②銃砲刀剣類発見届出受理証
 - ③登録手数料
 - ④印鑑

機械設備の投資を 計画される方へ

財中小企業振興公社

中小企業者が必要とする新鋭機械設備を割賦で譲渡する設備貸与制度の受付を四月一日から開始します。

・設備価格
二十万円以上二十万円以下
又は二十万円超三十万円以下
・貸与損料
年五%又は年五・五%

・返済期間 四年半又は七年
・申込み及び詳細
産業開発課又は
新潟市西堀前通一七二五〇六
財中小企業振興公社
電話二五二二二二〇〇二五

中小企業設備近代化 資金 四月一日から受付

・申込み、四月一日から
十二月二十日
問合せ先、町商工会